

## J R東日本気仙沼線BRTにおいてGMP Sが初の社会実装 ～持続的な地方公共交通の発展に貢献～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）の開発する、磁気マーカによる自車位置推定技術「GMP S※<sup>1</sup>」が、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」）気仙沼線BRT※<sup>2</sup>にて、12月5日（月）より柳津駅～陸前横山駅間で実用化される自動運転バスに導入されました。これは、これまで日本各地において、厳しい気象条件や周辺環境の下で実証実験を積み重ね、高い信頼性を獲得してきたGMP Sの、初めての社会実装事例となります。

現在、少子化・高齢化によるドライバー不足に加え、地震・豪雨などでの被災により地方公共交通のあり方が社会課題となっています。そこで当社は、JR東日本による、地方住民の足となる利便性の高い交通手段の維持を目指すBRT自動運転化の実証実験に、GMP Sで2018年から継続的に参画してきました。

実証実験においてGMP Sは、正確性を求められる車線維持や正着制御をはじめ、GNS S電波の届かないトンネルなどの場面で、高精度かつ安定的な性能を実証してきました。この成果を受け、GMP Sは「安全性に直結する高精度な自車位置推定」を担うシステムとして自動運転バスに導入されました。自動運転実用化区間4.8kmの全区間に磁気マーカが埋め込まれ、自車位置推定で安全・安心な自動運転を支援します。

当社は初の社会実装を皮切りに、あらゆる道路・車両への社会実装を目標として取り組むことで、安全・安心な次世代モビリティ社会の実現に貢献していきます（下記概念図参照）。

※<sup>1</sup> 当社が開発し、商品化を進めている自動運転支援システム「磁気マーカシステム」のこと。GMP S<sup>®</sup> Global Magnetic Positioning Systemの略。

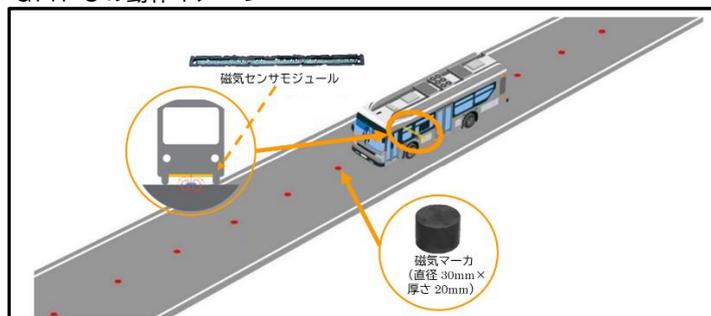
特設サイト：<https://www.aichi-steel.co.jp/smart/mi/gmps/>

※<sup>2</sup> BRT：Bus Rapid Transitの略。バス専用道等を用いた高速輸送システムのこと。

【参考URL】JR東日本リリース BRT専用大型自動運転バスの実用化開始について  
[https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220906\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2022/20220906_ho02.pdf)



GMP Sの動作イメージ



← GMP Sの取組み概念図

GMP Sの社会実装を目指すモビリティを、空間と対象車両でカテゴライズした図。本ニュースリリースでは、特定エリア×特定・専用車両領域の中の赤枠に相当するBRTでの実用化の取組みを表しています。



自動運転実用化区間（気仙沼線BRT 柳津駅～陸前横山駅間 専用道）  
 画像提供：東日本旅客鉄道株式会社



BRT専用大型自動運転バス  
 画像提供：東日本旅客鉄道株式会社